

令和3年4月入学（春季入学）〔一般入試〕

秋田大学大学院国際資源学研究科

博士前期課程 学生募集要項

日程表

項	目	月 日
出願資格事前審査 (該当者のみ)	一般入試	令和2年7月6日～令和2年7月10日
出願受付期間	一般入試	令和2年8月3日～令和2年8月7日
検査日	一般入試	令和2年8月31日
合格発表	一般入試	令和2年9月8日

令和2年7月

秋田大学大学院国際資源学研究科

アドミッション・ポリシー

【国際資源学研究科】

●求める人物像

1. 持続的社会的の実現のため資源・エネルギー・環境問題に対する強い探究心を持ち、より高度な専門知識を身につけ、国際的な資源開発に意欲的に取り組むことを目指す人
2. 国際的な論理的思考力と判断力、実践力、独創性を持ち、最先端の知識を修得した資源技術者、研究者として活躍したい人
3. 社会人学生や留学生にとっても学びやすい環境、制度を活用し、豊かな経験や多彩な価値観を修得したグローバル社会での活躍を目指す人

【博士前期課程】

●求める人物像

博士前期課程においては、専門的な知識や技術の修得により、積極的に社会に還元する意志の強い人材を受け入れます。各専攻分野において、意欲的に勉学及び研究に取り組む優秀な学生に対しては、推薦入試制度を設けて積極的に受け入れます。

【資源地球科学専攻】

●求める人物像

1. 地球科学に関する興味や勉学・研究意欲を持ち、学部で学んだ知識をさらに深め、より高度な専門知識を身につけた技術者・研究者を目指す人
2. 学部で学んだ知識や社会人としてのキャリアを基礎として、新たに地球科学に関する知識を学び、それらを応用し、地球科学分野での活躍や社会人としてのキャリアアップを目指す人
3. 地球科学に関する知識や技術をもとに資源探査や評価を実施する能力を身につけ、資源問題の解決に立ち向かう意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

〈外国人留学生特別入試Ⅰ〉

書類審査で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。

〈外国人留学生特別入試Ⅱ〉

書類審査で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。面接試問で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。

〈推薦入試〉

面接試問で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。出身大学の成績証明書で「知識・技能」を重点的に評価します。推薦書で「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。

〈一般入試〉

学力検査で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。面接試問で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。出身大学の成績証明書で「知識・技能」を重点的に評価します。

〈社会人特別入試〉

書類審査で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。面接試問で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。

【資源開発環境学専攻】

●求める人物像

1. 資源開発環境学に関する興味や勉学・研究意欲を持ち、学部で学んだこれらの知識をさらに深め、より高度な専門知識を身につけた技術者・研究者を目指す人
2. 学部で学んだ知識や社会人としてのキャリアを基礎として、資源開発に関する最新の知識と応用力を修得し、資源開発分野でのグローバルな活躍や社会人としてのキャリアアップを目指す人
3. 資源開発に関わる、経済学的評価法や資源保有国の政情、文化を理解するための素養を身につけ、探査、開発から精練、環境保全に至る一連の流れを、専門的見地から理解し、資源問題の解決にあたる意欲を持つ人

●入学者選抜の基本方針

〈外国人留学生特別入試Ⅰ〉

書類審査で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。

〈外国人留学生特別入試Ⅱ〉

書類審査で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。面接試問で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。

〈推薦入試〉

面接試問で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。出身大学の成績証明書で「知識・技能」を重点的に評価します。推薦書で「知識・技能」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。

〈一般入試〉

学力検査で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。面接試問で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。出身大学の成績証明書で「知識・技能」を重点的に評価します。

〈社会人特別入試〉

書類審査で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。面接試問で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。

授業は全て英語で行われます。

入学志願者の個人情報保護について

本学では、提出された出願書類から志願者の個人情報を取得し、また、入学試験の実施により受験者の個人情報を取得しますが、これらの個人情報は、下記の目的で利用します。

【利用目的】

- 入学者選抜に関する業務（統計処理などの付随する業務を含む。）に利用します。
- 入学手続完了者にあつては、入学後の学籍管理、学習指導、学生支援関係業務および授業料徴収業務に利用します。

国際資源学研究科博士前期課程 学 生 募 集 要 項

国際資源学研究科は、博士課程の前期と後期からなり、この募集要項は前期課程についてのものです。前期課程の入学者の選抜は、一般入試、推薦入試、社会人特別入試及び外国人留学生特別入試Ⅰ・Ⅱの区分により行います。

I. 一 般 入 試

1. 募 集 人 員

専 攻 名	募 集 人 員
	春季入学
資 源 地 球 科 学 専 攻	17 名
資 源 開 発 環 境 学 専 攻	23 名
計	40 名

〔備考〕一般入試の募集人員の中には、各専攻とも推薦入試、社会人特別入試及び外国人留学生特別入試Ⅰ・Ⅱの若干名を含みます。

本研究科では、希望する研究内容等について教員への事前相談を推奨しています。各教員の教育・研究分野は、8～9頁に記載のとおりですので、出願前に事前相談をしてください。

指導を希望する教員へ連絡を取りたい場合は、以下の連絡先に教員名を記載の上ご連絡ください。

連絡先：秋田大学入試課 nyushi@jimu.akita-u.ac.jp

2. 出 願 資 格

令和3年4月入学（春季入学）に出願できる者は、次のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び令和3年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び令和3年3月までに授与される見込みの者
〔(独) 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び授与される見込みの者〕
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定

- 外国大学日本校)を修了した者
- (6) 指定された専修学校の専門課程(文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧)を修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号第1号~第4号,昭和30年文部省告示第39号第1号)
- 〔旧大学令による大学,各省庁組織令・設置法による大学校を卒業した者等〕
- (8) 本研究科において,個別の入学資格審査により,大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で,令和3年3月末日までに22歳に達する者

【注】 出願資格(8)には短期大学,高等専門学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等が該当します。これにより出願する者には出願資格の事前審査を行いますので,「事前審査申請書」(本要項とじ込み),「最終学歴卒業(見込み)または修了(見込み)証明書」,「在職証明書」及び研究歴・職歴など審査の参考となる資料を,令和2年7月6日(月)から7月10日(金)(必着)までの間に入試課に提出してください。

出願資格審査結果は,令和2年7月31日(金)までに本人に通知します。

3. 出願期間及び出願書類提出先

(1) 出 願 期 間

令和2年8月3日(月)~8月7日(金)まで(必着)

簡易書留郵便による提出とし,封筒の表面に「大学院国際資源学研究科博士前期課程入学願書在中」と朱書きし,郵便事情を考慮のうえ8月7日(金)17時まで必着するよう送付してください。

(2) 出願書類提出先

秋田大学入試課

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

☎ (018) 889-3178

4. 出 願 手 続

(1) 出 願 書 類 等

提出書類等	注 意 事 項
入学志願票 受験票 写真票	本研究科所定の志願票(本要項とじ込み)に,必要事項を記入してください。 出願前3か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きの写真(4.5cm×3.5cm)を所定欄に貼付してください。
卒業証明書または 卒業見込証明書	出身大学の学長または学部長が作成したもの。
成績証明書	出身大学の学長または学部長が作成し厳封したもの。 本学国際資源学部または工学資源学部を令和2年9月卒業見込みの者または令和3年3月卒業見込みの者は,「成績証明書」,「卒業見込証明書」の提出を要しません。
検 定 料 検定料振替払 込 受 付 証 明 書 貼 付 台 紙	30,000円 本学所定の払込取扱票に志願者本人の氏名その他必要事項を記入し,原則として令和2年7月20日(月)以降出願前までにゆうちょ銀行または郵便局の窓口で振り込んでください。(振込手数料は負担願います。)※ATMは使用しないでください。 振込の際に受領する「振替払込受付証明書」を台紙にしっかりと貼ってください。台紙には,氏名,志望専攻等を記入してください。 出願手続完了後は,いかなる理由があっても既納の検定料は返還しません。ただし,検定料の払込後に出願しなかった場合は,検定料を返還しますので,原則として令和2年8月17日(月)から8月21日(金)までの間に,経理・調達課出納担当(Tel 018-889-2234)に申し出てください。
受験票等 返信用封筒	本要項に添付されている封筒に,受信場所(住所,氏名,郵便番号)を明記し,374円分の切手を貼付したもの。
そ の 他	(1) 日本国籍を有しない者は,市区町村長発行の「在留資格が明記された住民票」を提出してください。 (2) 出願資格(2)「学士の学位を授与された者」により出願する者は,(独)大学改革支援・学位授与機構が発行する学士の学位授与証明書を提出してください。 (3) 出願資格(2)「学士の学位を授与される見込みの者」により出願する者は,次の書類を提出してください。 ① 在籍する短期大学の専攻科または高等専門学校の専攻科修了見込証明書。 ② 「学士の学位の授与を申請する予定である」旨を明記した証明書(様式任意)。(出願者が在籍する短期大学学長または高等専門学校長が作成したもの。)
通信用シール	本研究科所定の用紙(本要項とじ込み)に,必要事項を記入してください。

【注】出願資格(8)により出願を認められた者は,卒業(修了)証明書の提出は要しませんが,成績証明書は出身学校の長が作成し,厳封したものを提出してください。

(2) 出願に当たっての留意事項

- ① 書類の不備なものは受理しませんので、記載事項に記入漏れ、誤記のないよう十分注意してください。
- ② 受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- ③ 出願後の志望専攻の変更は認めません。
- ④ 出願後、入学志願票に記載の「受信場所」に変更があった場合は、速やかに連絡してください。
- ⑤ 提出書類は、本研究科所定の用紙に記入の際、文書作成ソフト等を使用しても差し支えありません。

5. 入学者の選抜方法

入学者の選抜は、面接試問、出身大学の成績証明書の結果を総合して行います。

6. 面接試問

試験期日 令和2年8月31日(月)

面接方法、場所、時間等は、受験票送付時に通知します。受験票が8月25日(火)まで手元に届いていない場合、入試課へ速やかに連絡してください。

7. 配慮を必要とする入学志願者の事前相談について

病気・負傷、身体障害および発達障害等の心身の機能の障害(以下、「障害等」という。)により、受験上および修学上の配慮を必要とする可能性のある入学志願者は、出願に先立ち、本研究科所定の用紙に必要事項を記入の上、医師の診断書等を添えて、令和2年7月20日(月)までに入試課に相談してください。日常生活においてごく普通に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合や期限後に不慮の事故等により、受験上の配慮が必要となった場合には、速やかに相談してください。

また、障害等の程度によっては、事前の準備が必要となる場合がありますので、本学への出願を迷っている場合でもあらかじめ相談いただき、進路決定等により特別措置が不要となった場合には、その旨入試課までお知らせください。

なお、事前相談の内容等が合否判定のための資料になることはありません。

○相談先 秋田大学入試課

☎ (018) 889-3178 E-mail : nyushi@jimu.akita-u.ac.jp

8. 合格者の発表

令和2年9月8日(火)13時(予定)に、秋田大学手形キャンパス内に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を送付します。

なお、電話による合否の照会には応じません。

9. 入学手続

令和3年4月入学(春季入学)の者

(1) 入学手続きの詳細については、令和3年2月上旬に改めて通知します。

(2) 学 費

① 入 学 料……282,000円(予定額)

② 授 業 料……前期分267,900円(年額535,800円)(予定額)

注1) 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

注2) 上記納付金は予定額であり、入学前に入学料が改定された場合には、改定時から入学希望者全員に新入学料が適用されます。また、入学時または在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。

注3) 入学手続完了後、特別な事情により令和3年3月31日(水)までに入学を辞退した場合には、納付した者の申し出により、所定の手続きのうえ、当該授業料相当額を返還します。

(3) その他

① 経済的理由により入学料の納付が困難でかつ学業優秀な者、または特別な事情がある者には、選考の上、全額、半額の免除または徴収猶予が認められる制度があります。

② 経済的理由により授業料の納付が困難でかつ学業優秀な者、または特別な事情がある者には、選考の上、全額、半額、3分の1の免除または徴収猶予が認められる制度があります。

③ 日本学生支援機構の奨学金の貸与を希望する者には、選考の上、月額50,000円～150,000円が貸与されます。(希望金額選択)ただし、貸与割当数には限りがあります。

④ TA(ティーチング・アシスタント)に採用された場合、手当の支給があります。

10. そ の 他

- (1) 試験当日は，受験票を必ず持参してください。
- (2) 入学試験に関する照会等は下記宛にしてください。

記

秋 田 大 学 入 試 課
〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号
Tel (018) 889-3178

国際資源学研究科の概要

国際資源学研究科は、持続的社会的実現のため資源地球科学分野および資源開発環境学分野に関する高度な知識と専門性に裏付けられた最先端の教育・研究を進めることで、地球科学から資源開発、環境保全に至る広範な知識を修得し、グローバルリーダーとして活躍できる人材の養成を目的に設立されている。なお、授業はすべて英語で行う。

1. 研究科の組織

本研究科は、国際資源学部を基礎とする区分制の博士課程である。この課程を前期2年及び後期3年に区分し、前期2年の課程を修士課程として取り扱う。

博士前期課程(修士課程)では、国際資源学部の3コースを基礎に、「資源地球科学専攻」と「資源開発環境学専攻」の2専攻(2講座)を設け、博士後期課程では、博士前期課程とは組織を区分して新たに編成した「資源学専攻」の1専攻(2講座)を設けている。

《国際資源学研究科博士前期課程》

専攻名	講座名
資源地球科学専攻	資源地球科学講座
資源開発環境学専攻	資源開発環境学講座

《国際資源学研究科博士後期課程》

専攻名	講座名
資源学専攻	資源地球科学講座
	資源開発環境学講座

2. 専攻の概要（令和2年7月現在）

《資源地球科学専攻》

本専攻は鉱物資源，エネルギー資源等の多様な資源の生成機構・賦存環境及びそれに関連した資源の探査及び評価技術，資源形成の源となる鉱物・岩石・地質構造の成因に関わる専門分野の教育を行う。これにより社会の要請に応え得る新たな資源学の専門知識，専門技術と地球科学に関する広い知識を修得した人材を育成する。

以上のような，地球資源に関わる教育・研究を実現するため，本専攻は1つの大講座で編成する。

【教育・研究分野の内容，担当教員及び授業科目】

講座	教育・研究分野		教員名	授業科目
	名称	内容		
資源地球科学	地質エネルギー学Ⅰ	石油，石炭，天然ガス等のエネルギー資源探査の基礎となる層位学，古生物学，堆積学，古環境学，地史学に関する教育・研究	准教授 山崎 誠 准教授 オブラカ ストップ	応用微古生物学 古環境復元のデータ解析
	鉱床学	金属鉱床学の専門分野における幅広い知識と分析手法，社会との関わり，鉱床成因論，鉱床探査の基礎と実践に関わる教育・研究	教授 アガンジアドレア 准教授 高橋 亮平	応用鉱物資源学 応用資源地質学
	岩石学	マグマの深部プロセス，マグマ-水相互作用，噴火過程，運搬堆積過程を含む，火成岩類の成因解析およびその応用に関する教育・研究	教授 大場 司	火山地質学特論 岩石学特論
	構造地質学	地球表層部での岩石の脆性破壊および地下深部での岩石・鉱物の流動変形に関する教育・研究	講師 西川 治	構造地質学特論
	鉱物学	鉱物資源形成の基礎となる鉱物の生成条件及びその応用に関する教育・研究	教授 渡辺 寧 准教授 越後 拓也	資源鉱物学特論 鉱物学特論
	堆積学・石油地質学	層位学，構造地質学，地化学，古環境学等の基礎知識に立脚した石油・天然ガス・非在来型エネルギー資源の成立・胚胎，ならびに探査に関する教育・研究	教授 ^④ 荒戸 裕之 准教授 千代延 俊	石油地質学特論 石油探査学特論
	応用地球物理学	地震波動，電磁気などの地球物理学的諸現象の地質探査等への利用に関する理論，実験，計測，解析，解釈等の教育・研究		応用地球物理学特論Ⅰ 応用地球物理学特論Ⅱ

注：④は令和4年3月退職予定教員を示す。

《資源開発環境学専攻》

本専攻は、資源探査から石油・天然ガス・鉱物・地熱等の多様な天然資源の開発と生産、さらにリサイクル・製錬技術や廃水処理等の環境保全、資源環境と物質循環、資源経済に関する理論と最新技術に至るまで高度な専門教育・研究を行い、次代の資源開発に俯瞰的に取り組む技術者の養成を目指す。これにより社会の要請に応え得る最新の専門技術と資源開発環境学に関する幅広い知識を修得したグローバルな人材を育成する。

以上のような、資源開発環境学に関わる教育・研究を実現するため、本専攻は1つの大講座で編成する。

【教育・研究分野の内容、担当教員及び授業科目】

講座	教育・研究分野		教員名	授業科目
	名称	内容		
資源	資源環境物質循環	地球表層及び内部における物質循環、特に水、ガス、マグマの特性やそれらの移動・循環に基づく鉱物資源、地熱資源、水資源、自然災害、環境保全、資源利用に関する教育・研究	教授 ^④ 石山 大三 准教授 小川 泰正	地球化学特論Ⅰ 地球化学特論Ⅱ
	岩盤工学	資源開発及び地殻開発における岩盤工学の基礎と応用に関する教育・研究	教授 今井 忠男 准教授 木崎 彰久	岩盤工学特論Ⅰ 岩盤工学特論Ⅱ
	採鉱工学	ハードロックマイン、コールマイン採掘等の資源開発に関する防災・生産システムの基礎と応用に関する教育・研究	教授 川村 洋平	採 鉱 工 学
開発	エネルギー資源工学	石油、天然ガス、地熱などのエネルギー資源及び地下水の開発に関する理論と応用に関する教育・研究	教授 藤井 光 教授 長縄 成実	石油貯留層工学 掘削工学
環境	資源処理学	資源処理における分離工学とリサイクル技術の開発、廃水処理等の環境保全に関する教育・研究	教授 柴山 敦 准教授 芳賀 一寿	資源分離工学 湿式分離工学特論
学	資源再生工学	金属素材製造プロセスの製精錬原理、素材製造における副産物の有効利用の理論と手法に関する教育・研究	准教授 高崎 康志	資源再生精錬学特論 素材生産工学特論
	資源経済学	資源の持続可能な供給から消費・リサイクル・環境負荷における課題について、経済学、金融工学・システム工学の手法を用いたモデル化と評価に関する教育・研究	教授 安達 毅	資源経済学特論
	資源管理学	文化人類学、社会生態学、地域研究に基づく、統合的な資源管理、在来知識の応用、農村地域開発に関する教育・研究	教授 縄田 浩志	資源管理学特論

注：④は令和4年3月退職予定教員を示す。

3. 課程修了の認定及び学位

本課程に2年以上在学し、下表の「博士前期課程履修基準」に定める課程修了に必要な30単位以上の単位を修得し、かつ、学位論文の審査及び最終試験に合格した者には、課程修了の認定を行います。あわせて、資源地球科学専攻は修士（資源学あるいは理学）、資源開発環境学専攻は修士（資源学あるいは工学）の学位を授与します。

なお、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、本課程に1年以上在学すれば足りるものとします。

博士前期課程履修基準

授業科目区分	必要単位数	摘 要
専 門 科 目	14単位以上（選択）	所属する専攻の専門科目のうちから10単位を、所属する専攻の専門科目および他の専攻の専門科目のうちから4単位以上を修得すること。
共 通 科 目	4 単位	「研究倫理」（単位なし・必修）を含む
演習（専門科目）	2 単位（必修）	
課 題 研 究	10単位（必修）	
計	30単位以上	

